

P side P 8.0 型ワイド液晶TVパック

目次 4ページ

取扱説明書

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みにになり、正しくお使いください。なお、この取扱説明書は、保証書と一緒に必ず保管してください。

接続と取り付けは、別冊の取付説明書をご覧ください。



carrozzeria
by **PIONEER**

TV-W818



安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意(警告を含む)しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止(やってはいけないこと)の内容です。



必ず行う

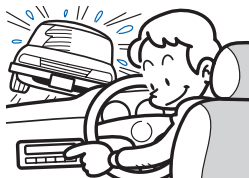
このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)

警告

[使用方法]

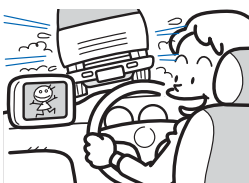
運転中に操作をしない



禁止

画質の調整を行うときは、画面を長く見る必要があります。自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。

走行中にテレビやビデオを見ない



禁止

運転者がテレビやビデオを見る時は、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやビデオを見ると前方不注意となり、交通事故の原因となります。

[異常時の処置]

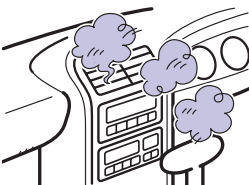
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

目次

はじめに

上手にお使いいただくために	6
システムによる操作の違いについて	7
各部のなまえと主な働き	8

映像を見る・音声を聞く

見たい映像を選ぶ	10
電源を入れる	
映像を切り換える	
ワイド画面の拡大のしかたを変える	12
2画面で見る	14
内蔵スピーカーから	
出力される音声を選ぶ	16

テレビを見る

テレビのふだんの操作	18
チャンネルを選ぶ	
音量を調整する	
一覧表示でチャンネルを選ぶ	20
自動的に	
複数のチャンネルを記憶させる	22
見たいバンドを選ぶ	23
記憶されていないチャンネルを見る	24

DVD リモコンで操作する

DVDナビゲーションシステムの	
リモコンで操作する	26
SOURCE ボタンの機能を切り換える	28
ナビゲーションの音声ソースを	
切り換える	29
リスト表示で見たいチャンネルをさがす	30
リスト表示しないでチャンネルを選ぶ	31

いろいろな設定と調整

設定メニューの基本的な操作	32
設定メニューを表示する	
項目を選ぶ	
決定する	
子画面の位置や大きさを変える	34
ピクチャー イン	
ピクチャーをOFFにする	35
カーステレオの	
スピーカーで音声を聞く	36
音声をFM電波で飛ばす	37
FMトランスミッターの	
レベルを調整する	38
カーステレオから	
出力される音声を選ぶ	39
カーステレオから出力される	
音声にガイド音声を重ねる	40
ガイド音声がよく聞こえるようにする	41
映像の明暗や色を調整する	42
液晶画面の明るさを調整する	43
液晶画面の明るさを自動的に調整する	44
2カ国語放送の副音声を聞く	45
チャンネルの記憶を変更する	46

C O N T E N T S

すぐ使えます
ここだけ読めば

すぐに使いたいときは、
ここをお読みください。

付録

本機の映像を リアモニターに表示する	48
2画面での ナビゲーションの映像について	49
モニターの正しい使いかた	50
リセットについて	51
故障かな?と思ったら	52
保証書とアフターサービス 仕様	54 55

はじめに

映像を見る・音声を聞く

テレビを見る

DVDリモコンで操作する

いろいろな設定と調整

付録

メモ

この説明書の中の画面は一例です。実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

上手にお使いいただくために

安全走行のために

本機は、パーキングブレーキのON/OFFを検知しており、走行中にテレビやビデオの映像を見ることができません。(走行中は次のようなメッセージが表示されます。)また、走行中に各種設定・調整 (☞ 32ページ) はできません。

例：テレビを見ようとしたとき



例：テレビとナビゲーションの2画面表示



このようなメッセージは、安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけることで解除されます。

必ず、[黒の濃さ] や液晶画面の明るさを調整してください

液晶モニターは、その構造上きれに見える角度が限られていますが、その左右方向の角度は [黒の濃さ] を調整することで変えることができます。初めてお使いになるときは、画面がきれいに見えるように、見る角度に合わせて [黒の濃さ] を調整してください。また、液晶画面自体の明るさも変更できますので、お好みに応じて調整してください。(☞ 42、43ページ)

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。車のエンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

モニターの液晶画面を保護するために

モニターに直射日光が当たる状態で長時間放置しておくと、高温になり、液晶画面が故障する恐れがあります。本機を使用していないときは、モニターに直射日光が当たらないようにしてください。(その他、気を付けていただきたいこと ☞ 50ページ)

システムによる操作の違いについて

組み合わせた製品によって一部の操作が異なります

本機の機能と操作方法は、DVDナビゲーションシステム「AVIC-D919」または「AVIC-D717」を組み合わせた場合と、組み合わせていない場合で、一部異なります。

DVDあり

このマークの付いている部分は、DVDナビゲーションシステムを組み合わせた場合にお読みください。

DVDなし

このマークの付いている部分は、DVDナビゲーションシステムを組み合わせていない場合にお読みください。
本書では、DVDナビゲーションシステムを組み合わせた場合を例にして、説明を行っています。DVDナビゲーションシステムを組み合わせていないときは、このマークの付いた部分が異なります。



このマークの付いている機能は、DVDナビゲーションシステムに付属のリモコンでも操作することができます。「DVDリモコンで操作する」(☞ 26～31ページ)をお読みください。

DVDあり

DVDナビゲーションシステムを組み合わせたお客様へ

DVDナビゲーションシステムが本機をコントロールします。このため、DVDナビゲーションシステムの電源が入っていないときは、本機は動作しません(テレビも見れません)。本機をお使いになるときは、DVDナビゲーションシステムの電源を入れてください。(☞ DVDナビゲーションシステムの説明書)

DVDなし

DVDナビゲーションシステムを組み合わせていないお客様へ

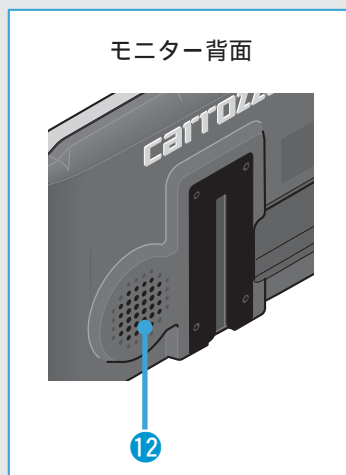
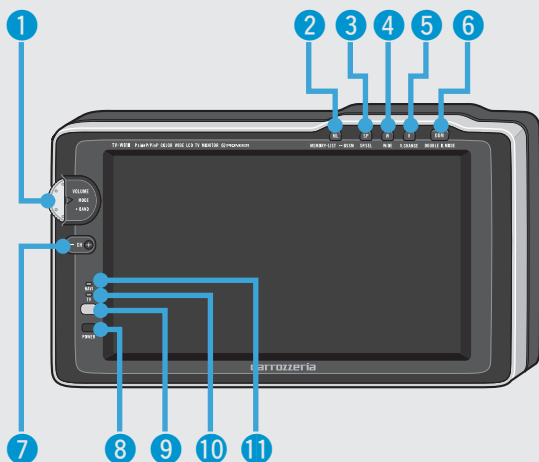
本書の中で説明している“ナビゲーション”(画面上の“NAVI”)と、“ガイド音声”(画面上の“GUIDE”)は、DVDナビゲーションシステムと、そのガイド音声のことです。組み合わせていない場合は、飛ばしてお読みください。

本機のRCAビデオ入力(☞ 『取付説明書』)に接続したナビゲーションシステムは、“ビデオ”(画面上は“VTR”)として扱われます。

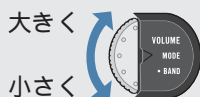
ここだけ読めば
すぐ使えます

はじめに

各部のなまえと主な働き



- 1 音量調整ダイヤル (19ページ) および調整ダイヤル (32 ~ 47ページ) 内蔵スピーカー (12) の音量を調整できます。



また、このダイヤルを右に押ししたり、回したりすることで、いろいろな設定や調整を行うことができます。



- メモリーリスト
2 MEMORY-LISTボタンおよびベストステーションズシーケンシャルメモリーBSSMボタン (20、22ページ) 記憶されているチャンネルを一覧表示させることができます。また、受信状態の良いチャンネルを、自動的に記憶させることができます。

- スピーカーセレクト
3 SP.SELボタン (16ページ) 内蔵スピーカー (12) から出力される音声を選ぶことができます。

- ワイド
4 WIDEボタン (12ページ) 4 : 3の映像を16 : 9の映像に拡大するときの方法を選ぶことができます。

- ビジュアルチェンジ
5 V.CHANGEボタン (11、15ページ) 見たい映像に切り換えることができます。

- ダブルディスプレイモード
6 DOUBLE D.MODEボタン (14ページ) ピクチャー サイド ピクチャーやピクチャーイン ピクチャーの2画面で、映像を見ることができます。

- チャンネル
7 CHボタン (19、21ページ) テレビのチャンネルを切り換えることができます。

- 9 外光センサー 周囲の明るさを感知します。本機では、周囲の明るさに合わせて、自動的に液晶画面の明るさを調整することができます。(44ページ)

- 12 内蔵スピーカー テレビの音声やナビゲーションのガイド音声が出力されます。

DVDあり

パワー

- 8 POWER ボタン (👉 10 ページ)
映像だけをON/OFFすることができます。
(OFFにすると、音声は出力されますが、画面には何も映らなくなります。)
- 10 映像のON/OFFランプ
映像がONのとき(映像が映っているとき)に、赤く点灯します。
- 11 DVDナビゲーションシステムの電源ランプ
DVDナビゲーションシステムの電源が入っているときに、橙色に点灯します。(映像がOFFでも、このランプがついているときは、裏でナビゲーションが動作しています。)

DVDなし

パワー

- 8 POWER ボタン (👉 10 ページ)
本機の電源を入/切します。
- 10 本機の電源ランプ
本機の電源が入っているときに、赤く点灯します。

また、DVDナビゲーションシステムを組み合わせしていない場合は、次の操作を行うこともできます。

- 1 調整ダイヤルで、テレビのバンドを切り換えることができます。(👉 23 ページ)
- 7 CH ボタンで、受信状態の良いチャンネルを自動的に選局したり、手動でチャンネルを合わせることができます。(👉 24 ページ)

- 5、6のボタンは次のときに働きます。
RCAビデオ入力(👉 『取付説明書』)にビデオを接続しているとき。

見たい映像を選ぶ

電源を入れる

映像を

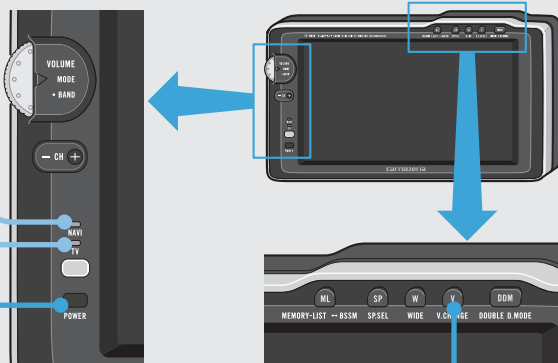
電源を入れて、見たい映像をワイド画面で楽しんでみましょう。

DVD ナビゲーションシステムの電源ランプ
DVD ナビゲーションシステムの電源が
入っているときに、橙色に点灯します。

映像の ON/OFF ランプ
映像が ON のとき (映像が映っている
とき) に赤く点灯します。

POWER ボタン

V.CHANGE ボタン



1 車のエンジンを かける



2 ナビゲーションの 電源を入れる

(DVDナビゲーションの説明書)
DVDナビゲーションシステムの電源を入/切す
ると、自動的に本機の電源も入/切されます。

DVDなし (マークの見かた 7ページ)
ナビゲーションシステムを接続してい
ない場合は、この操作は必要ありませ
ん。
ナビゲーションシステムを接続してい
る場合は、必要に応じてこの操作を行っ
てください。(ナビゲーションの電源を入/
切しても、本機の電源は入/切されませ
ん。)

3 映像を 表示させる

POWER ボタンを押す



押すごとに映像のON/OFF
が切り換わります。



OFF にすると、音声は出力されますが、
画面には何も映らなくなります。

DVDなし

POWER ボタンを押すごとに本機の電源が
入/切します。(映像だけをOFF にするこ
とはできません。)また、本機の電源が入っ
ているときに、赤いランプが点灯します。

4 見たい映像に 切り換える



V.CHANGE ボタンを押す



押すごとに映像が切り換わり
ます。



NAVI : ナビゲーションの映像

VTR : ビデオの映像 (接続した場合のみ)

TV : テレビの映像

メモ

RCA ビデオ入力 (『取付説明書』) にビデ
オを接続していないときは、ビデオの映像
(" VTR ") には切り換わりません。

RCA ビデオ入力にコードが接続されていると、
ビデオの電源の入/切に関係なく、ビデオの映
像に切り換わります。

DVDなし

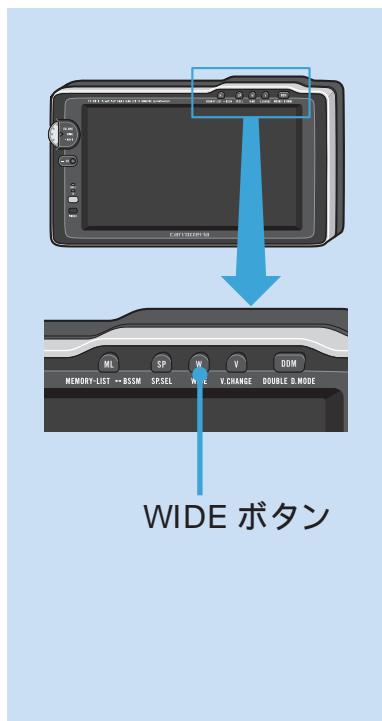
ナビゲーションの映像 (" NAVI ") には切り換わ
りません。

RCA ビデオ入力にナビゲーションシステムを接
続した場合は、ビデオとして扱われます。

ワイド画面の拡大のしかたを変える

4 : 3の映像を16 : 9の映像に拡大するときの方法を選ぶことができます。通常のテレビ番組を見るときや、映画を見るときなど、お好みに合わせて切り換えてください。

チェック 最初にTVかVTRの映像を表示させてください。(11 ページ)



ワイドモードを切り換える



WIDE ボタンを
押す



押すごとにワイドモードが切り換わります。



- フル
- ↓
- ジャスト
- ↓
- シネマ
- ↓
- ズーム
- ↓
- ノーマル

メモ

テレビやビデオの1画面(通常の画面 (14 ページ))のときに、ここで設定したワイドモードの映像になります。

テレビとビデオの映像で、設定内容が別々に記憶されます。

ピクチャー イン ピクチャー (14 ページ) のときは、ワイドモードは切り換えられません。また、映像はここでの設定に関係なく常にフルになります。

設定メニュー (32 ページ) を表示しているときは、ここでの設定に関係なく常にフルになります。

DVDあり

ナビゲーションの映像は、切り換えできません。

ワイド画面の映像について

テレビやビデオの4 : 3の映像(通常の映像)は、16 : 9に拡大されて表示されます。

DVDナビゲーションシステムの映像は、ワイド画面に対応していますので、より広い範囲の地図を表示することができます。

4 : 3のモニターの画面

本機の16 : 9のワイド画面

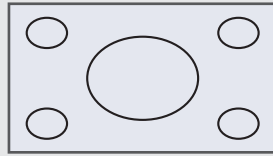
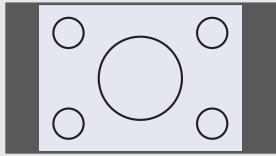


ワイドモード (フル/ジャスト/シネマ/ズーム/ノーマル)

すぐ使えます
ここだけ読めば

フル

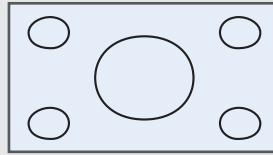
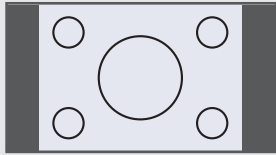
4 : 3 の映像の左右だけを拡大します。



テレビの4 : 3の映像 (通常の映像) が欠けることなく、ワイド画面で楽しめます。

ジャスト

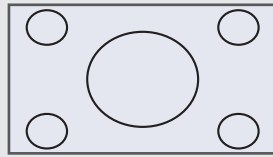
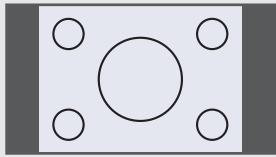
中央付近は少し、両端ほど横に拡大します。



4 : 3 の映像を違和感が少ない状態でワイド画面を楽しむことができます。

シネマ

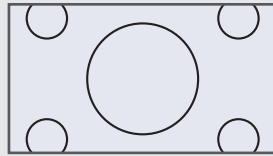
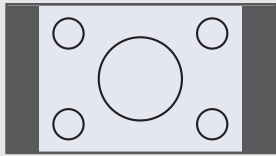
フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。



字幕が映像の外にある、映画サイズの映像 (横長の映像) を楽しむモードです。

ズーム

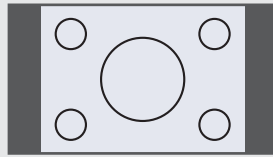
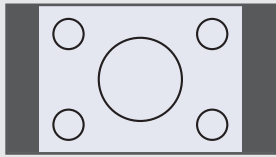
4 : 3 の映像の上下、左右を同じ比率で拡大します。



映画サイズの映像 (横長の映像) を楽しむモードです。

ノーマル

4 : 3 の映像をそのまま表示します。



通常の映像と同じですので、違和感がありません。

この映像にはこのワイドモードをおすすめします

テレビの4 : 3の映像
(通常の映像)



フルまたはジャスト
(シネマやズームにすると、映像の上下が欠けてしまいます。)

映画サイズの映像
(横長の映像)



ズーム
(映画サイズの映像は、上下に黒帯が付いているので、ズームが適しています。)

字幕が映像の外にある、映画サイズの映像 (横長の映像)

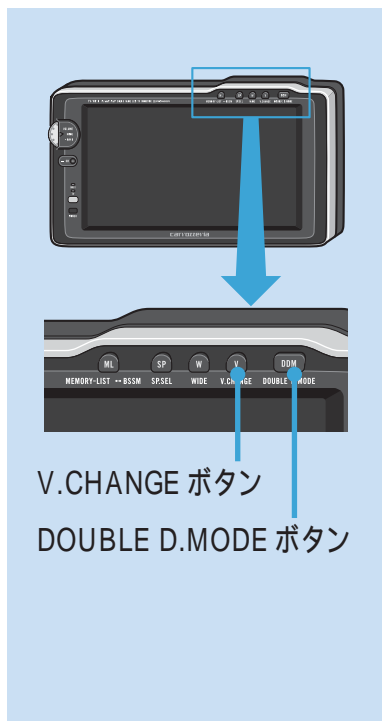


シネマ
(ズームでは欠けてしまう、映像の外の字幕を表示できます。)

映像を見る・音声を聞く

2画面で見る

テレビとナビゲーションの映像や、テレビとビデオの映像など、2つの映像を同時に見ることができます。



メモ

ピクチャー サイド ピクチャーでは、縦に伸びた映像が画面いっぱいに表示されます。

ピクチャー イン ピクチャーは、ワイド画面で表示されます。また、このときの映像は、ワイドモードの設定 (12ページ) に関係なく、常にフルになります。

ピクチャー イン ピクチャーの子画面の位置や大きさは、変更することができます。(34ページ)

ピクチャー イン ピクチャーには切り換わらないように設定することができます。(35ページ)

DVDあり

ピクチャー サイド ピクチャーにしているときでも、一時的にDVDナビゲーションの映像だけになることがあります。(DVDナビゲーションの映像について知っておいていただきたいこと 49ページ)

2画面モードを切り換える



DOUBLE D.MODE
ボタンを押す



押すごとに2画面モードが切り換わります。

1画面 (通常の画面)



ピクチャー サイド ピクチャー



ピクチャー イン ピクチャー



DVDなし

次のときに2画面モードに切り換えることができます。

RCAビデオ入力 (『取付説明書』) にビデオを接続しているとき。

2画面モードで映像を切り換る

2画面モードのときにV.CHANGEボタンを押すと、左右の画面や、親画面・子画面を入れ換えることができます。



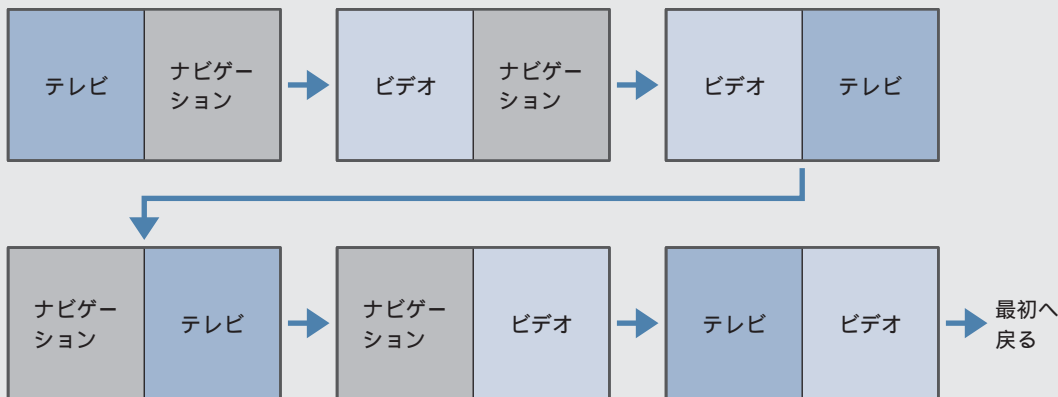
V.CHANGE ボタンを押す



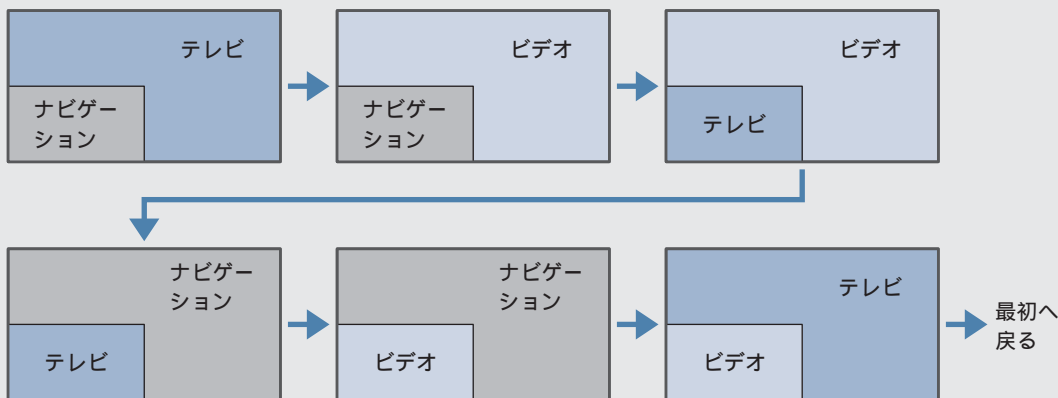
押すごとに映像が切り換わります。

2画面とも同じ映像にすることはできません。

ピクチャー サイド ピクチャーのとき



ピクチャー イン ピクチャーのとき



メモ

RCAビデオ入力 (『取付説明書』) にビデオを接続していないときは、ビデオの映像には切り換わりません。

DVDなし

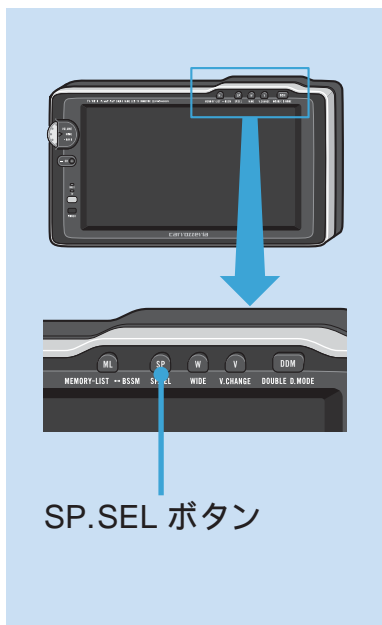
テレビとビデオの映像の入れ換えになります。

ここだけ読めば
すぐ使えます

映像を見る・音声を聞く

内蔵スピーカーから出力される

内蔵スピーカーから出力される音声だけを、切り換えることができます。映像とは別の音声を出力することもできます。



SP.SEL ボタン

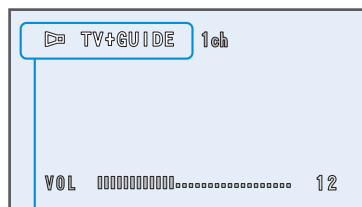
内蔵スピーカーの 音声を切り換える



SP.SEL ボタン
を押す



押すごとに音声
が切り換わり
ます。



GUIDE

ナビゲーションの音声 (ガイド
音声) だけが出力されます。

TV + GUIDE

テレビの音声とナビゲーション
のガイド音声、いっしょに出
力されます。

VTR + GUIDE (接続した場合のみ)

ビデオの音声とナビゲーション
のガイド音声、いっしょに出
力されます。

メモ

RCA ビデオ入力 (『取付説明書』) にビデオを接続していないときは、ビデオの音声には切り換わりません。

RCA ビデオ入力にコードが接続されていると、RCA オーディオ入力を接続する/しないに関係なく、ビデオの音声に切り換わります。

テレビ、ビデオの音声やナビゲーションのガイド音声は、内蔵スピーカー (モノラル出力) 以外に、カーステレオのスピーカー (ステレオ出力) から出力することができます。 (36 ページ)

DVDなし

ナビゲーションの音声 ("GUIDE") を選んでも、音声は出力されません。

RCA ビデオ入力にナビゲーションシステムを接続した場合は、ビデオとして扱われます。

テレビやビデオの音声を選んだときに "+ GUIDE" が表示されても、ナビゲーションのガイド音声は出力されません。

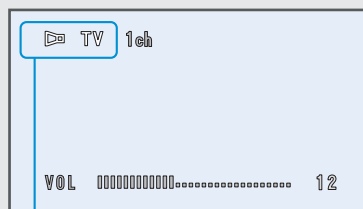
ガイド音声を出力したくないときは

本機では、ナビゲーションのガイド音声を、テレビやビデオの音声に重ねて出力することができます (ガイド音声のミキシング機能)。この機能はOFFにすることもできます。

SP.SEL ボタン
を2秒以上押す



2秒以上押すごとにON/OFFが切り換わります。



OFFのときは“ + GUIDE ”の表示が消えます。

この場合にSP.SELボタンを押すと、TV VTR OFFの順に切り換わります。(OFFにすると内蔵スピーカーからは音声が出力されません。)

DVDなし

はじめてお使いになるときは、ガイド音声の出力はOFFになっています。

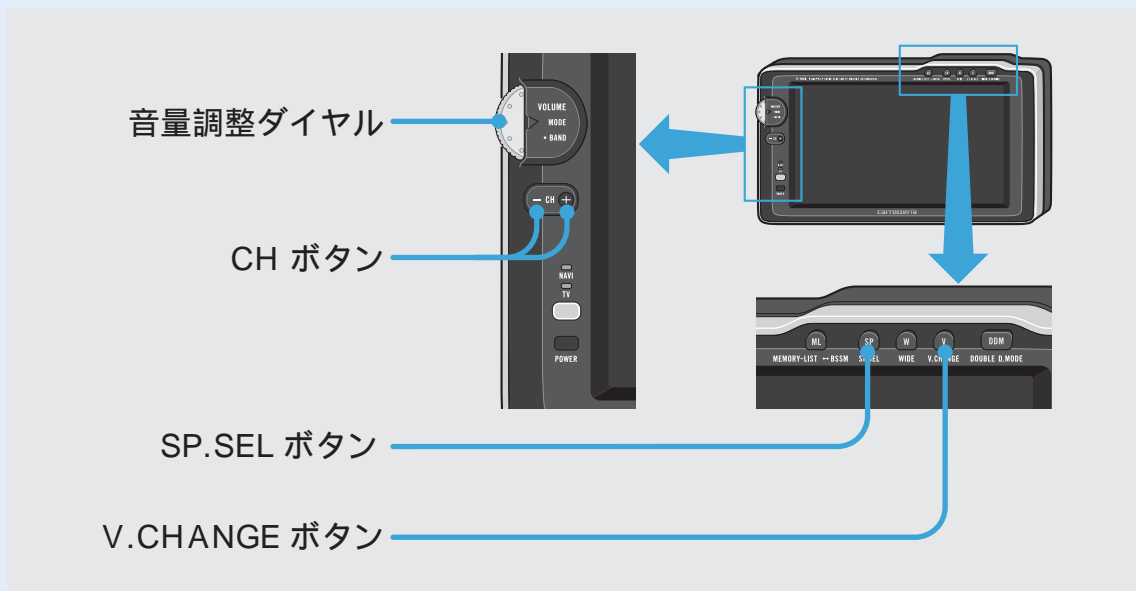
ここだけ読めば
すぐ使えます

映像を見る・音声を聞く

テレビのふだんの操作

チャンネルを選ぶ

ここだけの操作で、テレビを見ることができます。



1 テレビの映像と テレビの音声にする



V.CHANGE ボタンを押す

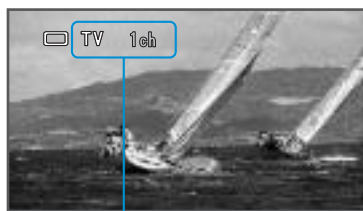


映像をテレビにします。
(☞ 11 ページ)

SP.SEL ボタンを押す



必要に応じて、内蔵スピーカー
の音声をテレビにします。
(☞ 16 ページ)



テレビの映像にすると、約8秒間、受信
チャンネルが表示されます。(表示が消え
た後、テレビの操作をすると再び表示され
ます。)

メモ

テレビの音声は、カーステレオのスピーカーか
からも出力することができます。(☞ 36 ページ)

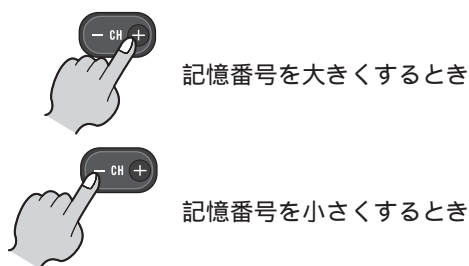
必要に応じて、カーステレオのスピーカーの音
声をテレビにします。(☞ 39 ページ)

ここだけ読めば
すぐ使えます

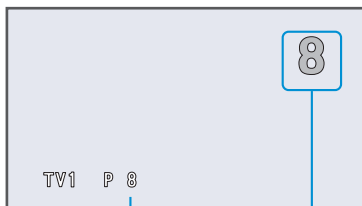
2 見たいチャンネルを選ぶ



CH ボタンを押す



記憶されているチャンネルが切り換わります。
(あらかじめ、VHF 1 ~ 12 ch が記憶されています。)
(記憶内容を変更するには 22、46 ページ)



記憶番号：1 ~ 12 まであります。

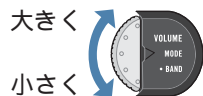
受信チャンネル：
モノラル放送のときは緑色で表示されます。
ステレオ放送を受信すると黄色、2 カ国語放送
(45 ページ) を受信すると赤色になります。

テレビを見る

3 スピーカーの音量を調整する

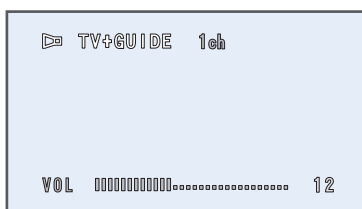


音量調整ダイヤルを回す (内蔵スピーカーの場合)



メモ

カーステレオのスピーカーからテレビの音声を出力している場合は、カーステレオの音量を調整します。(カーステレオの説明書)



内蔵スピーカーは、0 ~ 30 の範囲で調整できます。(約4秒間、音量が表示されます。)

メモ

映像や音声をテレビに切り換えなくても、裏でテレビチューナーが動作していますので、テレビの各操作を行うことができます。

走行中にテレビの映像を見ることはできませんが、テレビの各操作を行うことはできます。(音声も聞くことができます。)

ご自分の好きなように、チャンネルの記憶内容を変更することができます。(46 ページ)

DVDなし

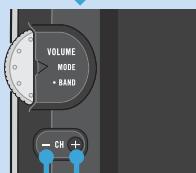
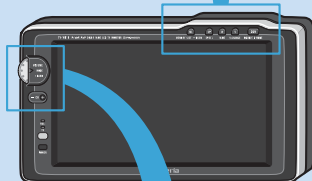
より多くのチャンネルを記憶できるように、TV1 とTV2の2つのバンド(23 ページ)に分かれています。必要に応じて使い分けてください。(受信できるチャンネルはどちらも1 ~ 62 chです。)

あらかじめ、VHF 1 ~ 12 ch が記憶されているのは、TV1のバンドだけです。

一覧表示でチャンネルを選ぶ

記憶されているチャンネルを一覧表示させ、その一覧表示から見たいチャンネルを選ぶことができます。

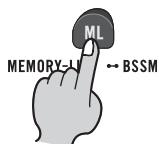
MEMORY-LIST ボタン



CH ボタン

1 記憶されているチャンネルを一覧表示する

MEMORY-LIST
ボタンを押す



1	3	4	6
8	10	12	16
32	2	5	7

動画が表示されます。

記憶されているチャンネルの番号を12画面に表示し、記憶番号1 (P1) に記憶されているチャンネルを受信します。

1	3	4	6
8	10	12	16
32	2	5	7

次の記憶番号に記憶されているチャンネルを受信します。前の記憶番号には静止画を表示します。

1	3	4	6
8	10	12	16
32	2	5	7

記憶されているチャンネルを順に受信していきます。

メモ

MEMORY-LIST ボタンを押す前に、記憶されているチャンネルをご覧になっていたときは、そのチャンネルから表示を始めます。

CH ボタンの + と - を同時に押すときは、CH ボタンの中央を親指で押すようにすると、うまく押すことができます。

1

1	3	4	6
8	10	12	16
32	2	5	7

記憶番号12まで受信すると、受信番号1に戻ります。

約4秒たつと

1	3	4	6
8	10	12	16
32	2	5	7

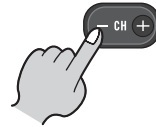
記憶番号1～12のチャンネルを約4秒ずつ次々に受信していきます。(受信状態の悪い放送局は、飛ばされます。)

2 見たいチャンネルを選ぶ

CHボタンを押す



次のチャンネルを選ぶとき



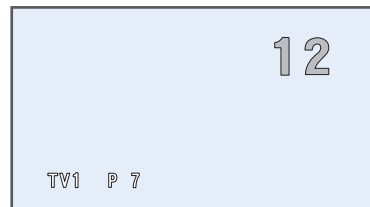
前のチャンネルを選ぶとき

1	3	4	6
8	10	12	16
32	2	5	7

見たいチャンネルを受信してください。

3 チャンネルを決定する

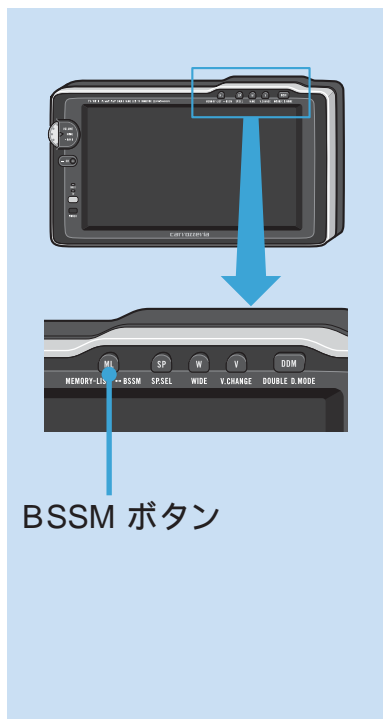
CHボタンの+と-を同時に押す



自動的に複数のチャンネルを記憶させる

BSSM

自動的に受信状態の良いチャンネルをさがして、受信状態の良い順に記憶させることができます。12局を一度に記憶します。記憶したチャンネルを一覧表示させることもできます。



記憶動作を始める

BSSM ボタンを
2 秒以上押す



記憶動作中に表示されます。受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶します。

記憶動作が終わると

1	3	4	6
8	10	12	16
32	2	5	7

自動的にチャンネル一覧表示になります。
見たいチャンネルを選んでください。

(👉 20ページ)

メモ

記憶動作を途中で解除するときは、もう一度BSSMボタンを2秒以上押します。

受信状態の良いチャンネルが、12局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。

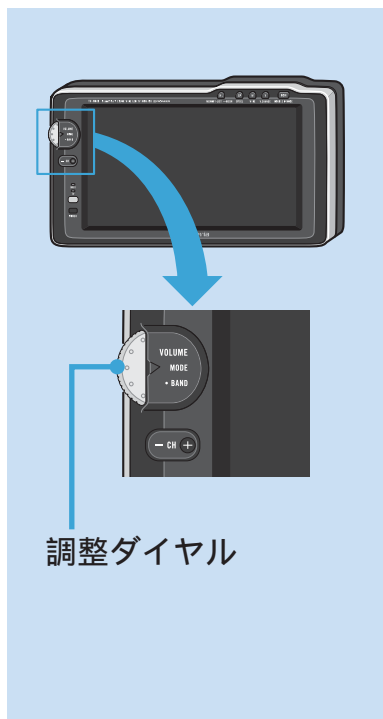
BSSMとは、Best Stations Sequential Memory (ベストステーションズシーケンシャルメモリー)の略です。

見たいバンドを選ぶ

バンド切り換え

より多くのチャンネルを記憶できるように、TV1とTV2の2つのバンドに分かれています。チャンネルによって、バンドを切り換えてお使いください。

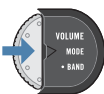
チェック DVDナビゲーションシステムを組み合わせていないときの機能です。



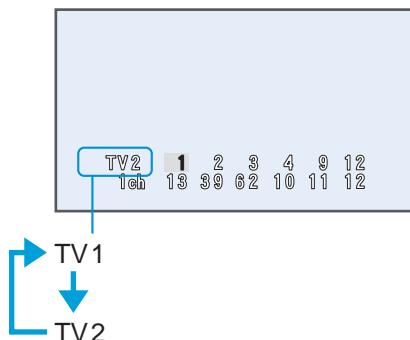
バンドを切り換える


調整ダイヤルを
2秒以上押す

2秒
右に
押す



2秒以上押すご
とにバンドが切
り換わります。




調整ダイヤルを押す時間が2秒未満の場合は、設定メニュー画面になります。( 32ページ)

テレビを見る

メモ

受信できるチャンネルはTV1とTV2どちらも1～62chです。

TV1のバンドには、あらかじめVHF 1～12chが記憶されています。

ご自分の地域のチャンネルはTV1に記憶させておきます。旅行や出張などで、どのチャンネルが受信できるのか知らない地域に行ったときに、TV2に切り換えてBSSM ( 22ページ) をお使いになると、TV1の記憶はそのままですので、大変便利です。

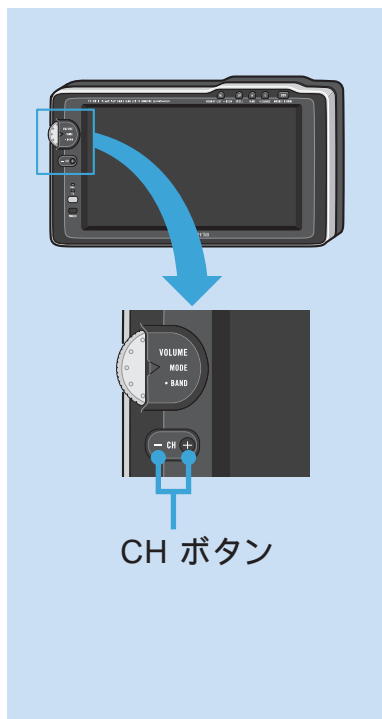
DVDなし

記憶されていないチャンネルを見る

自動選局 / 手動選局

記憶されていないチャンネルでも、受信状態の良いチャンネルは、自動的に選局することができます。また、電波が弱くて自動選局できないチャンネルは、手動で選局することができます。

チェック DVDナビゲーションシステムを組み合わせしていないときの機能です。



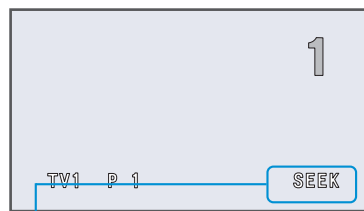
CH ボタン

1 自動選局または手動選局モードにする

CH ボタンの + と - を同時に押す



同時に押すごとに選局モードが切り換わります。



PRESET : プリセット選局モード
記憶番号で選局するモードです。ふだんはこのモードにしておきます。

SEEK : 自動選局モード
記憶されていないチャンネルを選局したいときは、まず、このモードにします。

MANU : 手動選局モード
自動選局できないチャンネルを選局したいときに、このモードにします。

2 チャンネルを選局する

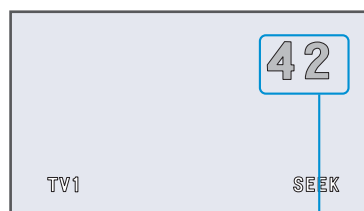
CH ボタンを押す



チャンネルを大きくするとき



チャンネルを小さくするとき



受信チャンネル

自動選局モードのとき
受信状態の良いチャンネルを見つけると、自動的に受信を始めます。

手動選局モードのとき
ご自分でチャンネルを合わせてください。(ボタンを押し続けると連続して送られます。)

メモ

CH ボタンの + と - を同時に押すときは、CH ボタンの中央を親指で押すようにすると、うまく押すことができます。

自動選局モードや手動選局モードになっているときは、記憶番号では選局できません。ふだんはプリセット選局モードにしておくことをおすすめします。



DVD ナビゲーションシステムのり

DVDナビゲーションシステムに付属のリモコンでも、本機の操作を行うことができます。

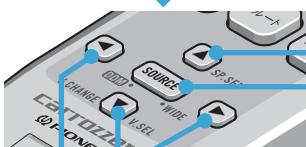
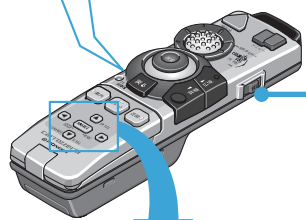
リモコンで操作するときは

リモコンの左側面には、操作モード切り換えスイッチがあります。このスイッチの位置により、操作できる機能が変わります。スイッチの位置を確認して操作を行ってください。操作モード切り換えスイッチをAUDIO側にしたときは、本機のボタンでは操作できない機能を操作することができます。通常はAUDIO側にしておくことをおすすめします。

リモコン受光部は、本機のモニターに内蔵されています。リモコンはモニターに向けて操作してください。

操作モード切り換えスイッチをTV側にしたときは、SOURCEボタンの機能を切り換えて使用します。(☞ 28ページ)

操作モード切り換えスイッチをTV側にしたときの操作



TV側に切り換えたときは、本機のボタンと同じ操作を行うことができます。(【】内が対応する本機のボタンです。)

ボリューム
VOLツマミ【音量調整ダイヤル】(☞ 19ページ)
本機の内蔵スピーカーの音量を調整できます。



スピーカー セレクト
▲ ボタン【SP.SELボタン】(☞ 16ページ)
本機のSP.SELボタンと同じ働きをします。(内蔵スピーカーから出力される音声を選ぶことができます。)

ソース ワイド ダブルディスプレイモード
SOURCEボタン【WIDEボタン】【DOUBLE D.MODEボタン】(☞ 12、14ページ)

本機のWIDEボタンまたはDOUBLE D.MODEボタンと同じ働きをします。(WIDEとDUOBLE D.MODEの切り換えかたは ☞ 28ページ)

ビジュアルチェンジ
▼ ボタン【V.CHANGEボタン】(☞ 11、15ページ)
本機のV.CHANGEボタンと同じ働きをします。(見たい映像に切り換えることができます。)

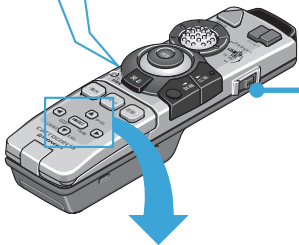
チャンネル
◀/▶ ボタン【CHボタン】(☞ 19ページ)
本機のCHボタンと同じ働きをします。(テレビのチャンネルを切り換えることができます。)

モコンで操作する

操作モード切り換えスイッチをAUDIO側にしたときの操作



AUDIO側に切り換えて操作します。



AUDIO側に切り換えたときは、ナビゲーションの機能を利用した、テレビやオーディオの操作を行うことができます。

ボリューム

VOLツマミ (パイオニア製カーステレオの音量調整ツマミ)
パイオニア製のカーステレオと組み合わせた場合、カーステレオの音量を調整できます。(この機能は、リモコンをカーステレオに向けて操作してください。)



小さく 大きく



ソース

SOURCE ボタン (☞ 29、30ページ)

カーステレオのスピーカーから、別売のオーバーレイディスクプレーヤー「CDX-R101」の音楽CDの音声を出力したり、音声が出力されないようにすることができます。また、自分がいる地域のテレビ局のリスト表示から、見たいチャンネルを選ぶことができます。

▲/▼ ボタン (☞ 30、31ページ)

自分がいる地域のテレビ局のチャンネルだけを選局することができます。

◀/▶ ボタン (☞ 31ページ)

リスト表示されないチャンネルを選局することができます。

AUDIO側に切り換えて操作するときは

VOLツマミ以外の操作を、ナビゲーションの映像を表示させてから行くと、ナビゲーションの映像の上に、操作ウィンドウが表示されます。

操作ウィンドウの例



ナビゲーションの映像をピクチャー サイド ピクチャー (☞ 14ページ) で表示しているときに操作を行うと、操作ウィンドウが優先的に表示されます。

操作ウィンドウは、操作後、約4秒間表示されます。すぐに、表示を消したいときは、リモコンの「戻る」ボタンを押してください。

ナビゲーションの映像が表示されていないときは、操作ウィンドウは表示されません。(テレビやビデオの1画面のときに操作を行うと、操作ウィンドウは表示されませんが、テレビ側の表示で、受信チャンネルなどを確認することができます。)

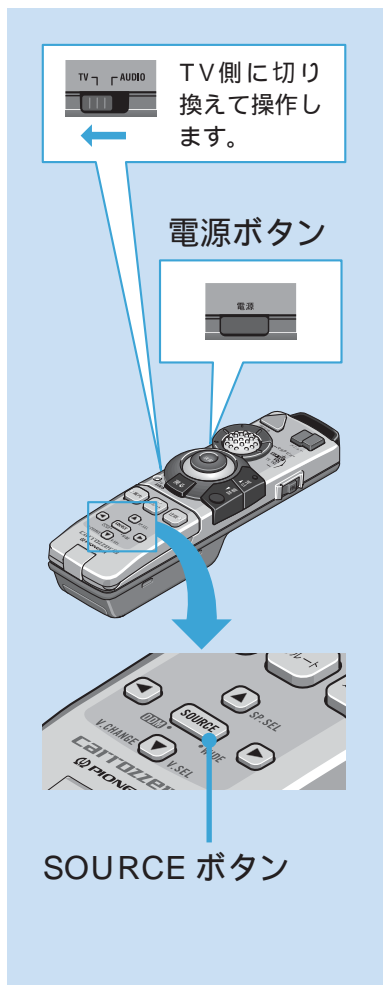
DVDあり

SOURCE ボタンの機能を切り換える

リモコンの設定切り換え

操作モード切り換えスイッチがTV側のときは、SOURCE ボタンの機能を切り換えることができます。

チェック 操作モード切り換えスイッチをTV側にしたときの操作です。(26 ページ)



SOURCE ボタンの機能を切り換える

電源ボタンを押したまま



SOURCE ボタンを押す



SOURCE ボタンの機能が、【WIDE ボタン】として働くか、【DOUBLE D.MODE ボタン】として働くかが切り換わります。

【WIDE ボタン】

本機のWIDE ボタンと同じ働きをします。(ワイド画面の拡大のしかたを変えることができます。 12 ページ)

【DOUBLE D.MODE ボタン】

本機のDOUBLE D.MODE ボタンと同じ働きをします。(ピクチャー サイド ピクチャーやピクチャー イン ピクチャーの2画面で、映像を見ることができます。 14 ページ)

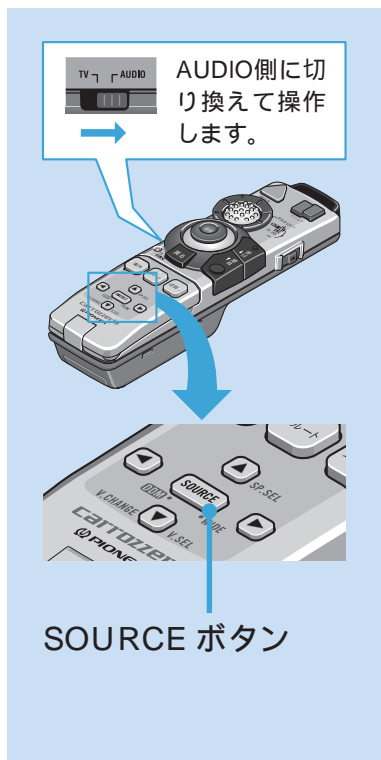
リモコンの電池を新しく入れたら交換したあとは【WIDE ボタン】の設定になります。

ナビゲーションの音声ソースを切り換える

ナビゲーションの音声ソース切り換え

別売のオーバーレイディスクプレーヤー「CDX-R101」を組み合わせた場合、「CDX-R101」で再生した音楽CDの音声を、カーステレオのスピーカーから出力することができます。

チェック 最初にナビゲーションの映像を表示させてください。(☞ 11ページ)



ナビゲーションの音声ソースを切り換える

SOURCE ボタンを押す



押すごとに音声ソースが切り換わります。



TV 本機の音声 (設定メニューの [音声出力] で選んだ音声 (☞ 39ページ) が出力されます。

M-CD オーバーレイディスクプレーヤー「CDX-R101」で再生した音楽CDの音声出力されます。

AUDIO OFF カーステレオのスピーカーから、音声出力されなくなります。

カーステレオのスピーカーから音声を出す (☞ 36ページ)

36ページをご覧になり、カーステレオのスピーカーから音声出力してください。

メモ

別売のオーバーレイディスクプレーヤー「CDX-R101」を接続していないときは、M-CDには切り換わりません。

音声ソースをM-CDに切り換えた場合、リモコンのスイッチがAUDIO側のときは、▲/▼/◀/▶ボタンは音楽CDの操作ボタンになります。(☞ DVDナビゲーションシステムの説明書)

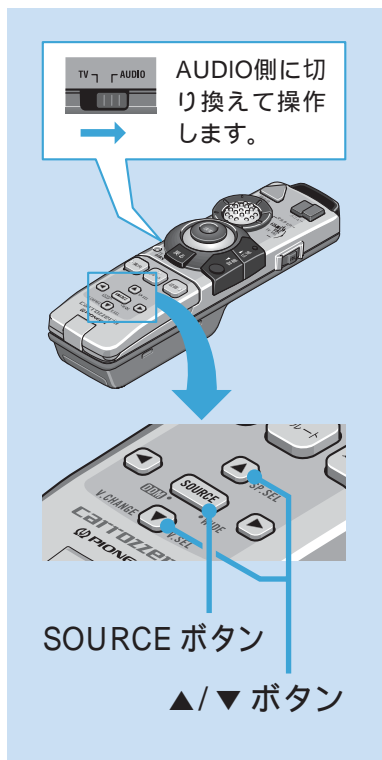
音声ソースをAUDIO OFFに切り換えた場合、リモコンのスイッチがAUDIO側のときは、▲/▼/◀/▶ボタンは機能しません。

リスト表示で見たいチャンネルをさがす

テレビ局リスト

ナビゲーションの映像を表示しているときは、現在自分がいる地域の代表的なテレビ局を、リスト表示することができます。また、そのリスト表示から見たいチャンネルを選ぶことができます。

チェック 最初にナビゲーションの音声ソースをTVに切り換えます。(29 ページ)



1 テレビ局名をリスト表示する

SOURCE ボタンを2秒以上押す



自分がいる地域のテレビ局のなまえとチャンネルが、リスト表示されます。(リスト表示されるのは代表的なチャンネルだけです。) 受信中のチャンネルは白く表示されます。

リスト表示は、何も操作が行われないと約4秒で自動的に解除されます。手順2の操作は、リスト表示が表示されている間に行ってください。

メモ

DVDナビゲーションシステムが測位した現在地と、地域別のテレビ局のデータを元に、リスト表示されるチャンネルが決定されます。(テレビ局のデータは、DVDに収録されています。)

旅行や出張などの移動により、受信できるチャンネルが変わった場合でも、測位した現在地によって、自動的にその地域に合ったチャンネルがリスト表示されます。リスト表示されるチャンネルでも、現在地の環境や電波の状況によっては、受信できない場合があります。

DVDに収録されていないテレビ局は表示されません。新しく開局したテレビ局などは、自動選局(31 ページ)をお使いになり、受信してください。

2 見たいチャンネルを選ぶ

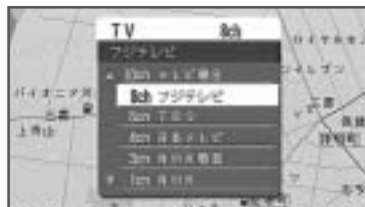
▲または▼ ボタンを押す



上のチャンネルを選ぶとき



下のチャンネルを選ぶとき



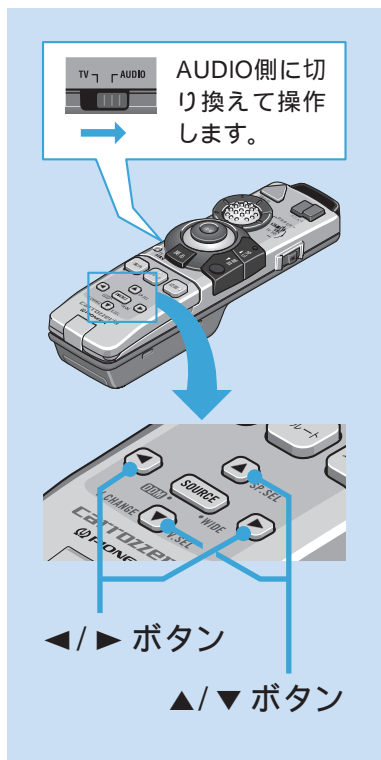
見たいチャンネルを白く表示させてください。(チャンネルを選んだ後で、すぐに表示を消したいときは、リモコンの「戻る」ボタンを押してください。)

リスト表示しないでチャンネルを選ぶ

自動選局/エリア選局

リスト表示 (👉 30ページ) をしなくても、チャンネルを選局することができます。

チェック 最初にナビゲーションの音声ソースをTVに切り換えます。(👉 29ページ)



チャンネルを自動選局する

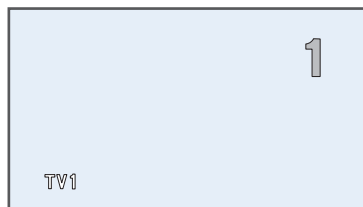
◀または▶ ボタンを押す



チャンネルを大きくするとき



チャンネルを小さくするとき



受信状態の良いチャンネルを見つけると、自動的に受信を始めます。
リスト表示 (👉 30ページ) されないチャンネルでも、受信状態が良ければ自動的に選局されます。

自分がいる地域のテレビ局のチャンネルだけを選局する

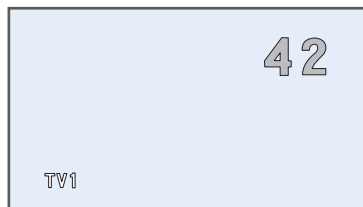
▲または▼ ボタンを押す



チャンネルを大きくするとき



チャンネルを小さくするとき



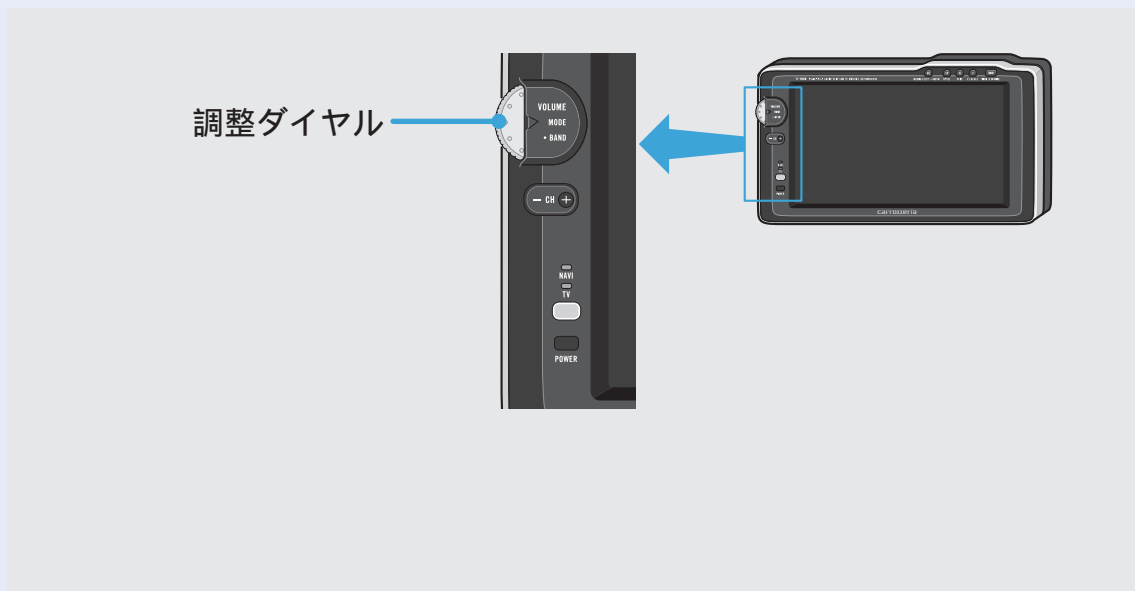
リスト表示 (👉 30ページ) で表示されるチャンネルに、順番に切り換わります。

設定メニューの基本的な操作

設定

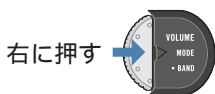
設定メニューでは、本機をより便利にお使いいただくために、各機能の設定や調整を行うことができます。まず最初に、設定メニューの基本的な操作を覚えておきましょう。

チェック 走行中は、設定メニューは表示されません。

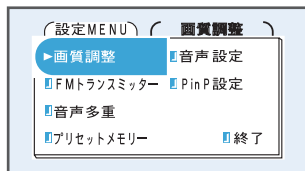


ここでは、例として、映像のコントラスト（明暗）を調整する場合の説明をしています。

1 設定メニューを表示する



設定メニューが表示されます。



現在選ばれているメニューが青く表示されます。

DVDなし

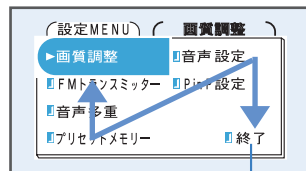
調整ダイヤルを2秒以上押すと、バンドの切り換えになります。

(23 ページ)

2 メニューを選ぶ

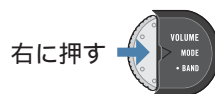


調整ダイヤルを回して、選みたいメニューを青く表示させます。

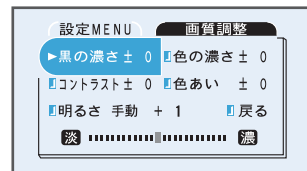


設定・調整をやめるときは、[終了]を選びます。

3 調整ダイヤルを押す



選んだメニューの、設定・調整項目が表示されます。

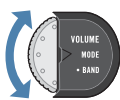


メモ

設定メニューの操作中に調整ダイヤルを2秒以上押すと、設定メニューを終了することができます。（この操作は、2～9のどの手順のときでも行えます。）

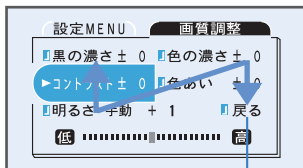
4 設定・調整項目を選ぶ

前を選ぶとき



次を選ぶとき

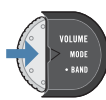
調整ダイヤルを回して、設定・調整する項目を青く表示させます。



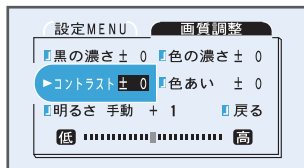
設定メニューに戻るときは、[戻る]を選びます。

5 調整ダイヤルを押す

右に押す

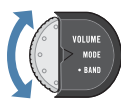


選んだ項目が設定・調整できるようになります。



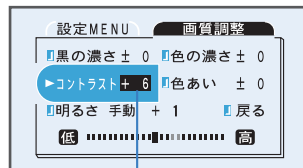
6 設定・調整を行う

+側にするとき



-側にするとき

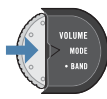
調整ダイヤルを回して、設定・調整を行います。



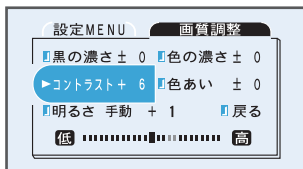
設定・調整内容が、切り換わります。

7 調整ダイヤルを押す

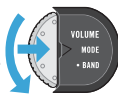
右に押す



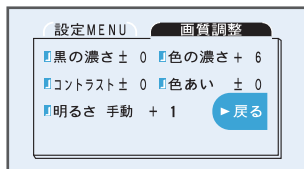
設定・調整した内容が決定されます。



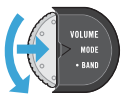
8 設定メニューに戻る

[戻る]を選んで
右に押す

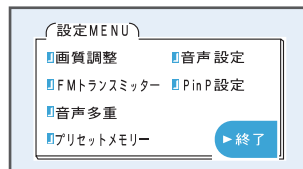
設定メニューに戻ります。



9 設定・調整を終わる

[終了]を選んで
右に押す

設定メニューが消えます。



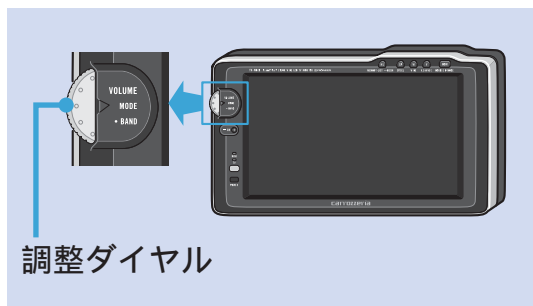
このように、調整ダイヤルを回し、押していくだけで、各機能の設定や調整を行うことができます。

子画面の位置や大きさを変える

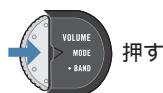
ピクチャー イン ピクチャーの子画面の位置 / サイズ

ピクチャー イン ピクチャーの子画面の位置や大きさは、変更することができます。

チェック 最初に設定メニューの基本操作を覚えましょう。(32 ページ)



1 設定メニューを表示させる



2 [P in P設定]を選び、調整ダイヤルを押す



3 [位置]を選び、調整ダイヤルを押す

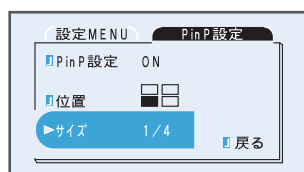


4 子画面の位置を選び、調整ダイヤルを押す

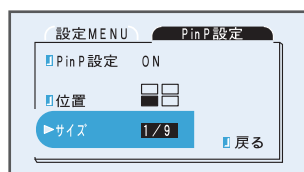


左下、右下、右上、左上の中から選ぶことができます。

5 [サイズ]を選び、調整ダイヤルを押す



6 子画面のサイズを選び、調整ダイヤルを押す



1/4、1/9、1/16の中から選ぶことができます。



設定終了です。[戻る]を選んで設定メニューに戻り、[終了]してください。

メモ

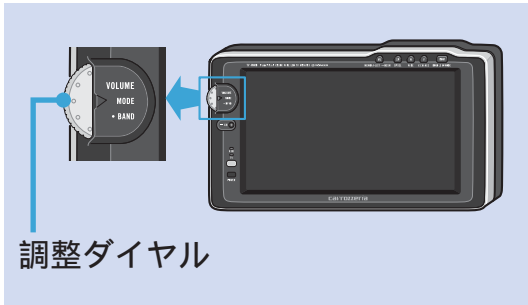
[P in P設定] (32 ページ) がOFFになっているときは、[位置]と[サイズ]を選ぶことはできません。

ピクチャー イン ピクチャーをOFFにする

ピクチャー イン ピクチャーの設定

DOUBLE D.MODE ボタンを押して2画面モード (14ページ) を選ぶとき、ピクチャー イン ピクチャーには切り換わらないように設定することができます。

チェック 最初に設定メニューの基本操作を覚えましょう。(32ページ)



4 ON/OFF を選び、調整ダイヤルを押す

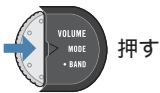


OFFにすると、2画面モードを切り換えても、ピクチャー イン ピクチャーには切り換わりません。



設定終了です。[戻る]を選んで設定メニューに戻り、[終了]してください。

1 設定メニューを表示させる



2 [P in P設定]を選び、調整ダイヤルを押す



3 [P in P設定]を選び、調整ダイヤルを押す



メモ

ピクチャー イン ピクチャーにしているときに設定をOFFにしても、ピクチャー イン ピクチャーは解除されません。次に2画面モードを切り換えたときから、ピクチャー イン ピクチャーには切り換わらないようになります。

カーステレオのスピーカーで音声を聞く

テレビ、ビデオの音声やナビゲーションのガイド音声は、内蔵スピーカー（モノラル出力）以外に、カーステレオのスピーカー（ステレオ出力）からも出力することができます。

音声をカーステレオのスピーカーから出力するには

テレビの音声やナビゲーションのガイド音声を、カーステレオのスピーカーから出力するには、次の方法があります。

(1) FM トランスミッター機能を使って出力する

音声をFM電波で飛ばし、その電波をFM付きカーステレオで受信して、聞くことができます。最初に、FMトランスミッターの設定を行ってください。(👉 37ページ)

(2) パイオニア製カーステレオのAUXソースで聞く

パイオニア製のIP-BUS入力付きカーステレオをお使いの場合は、IP-BUSケーブルで本機とカーステレオを接続することができます。

(接続のしかたは 👉 『取付説明書』)

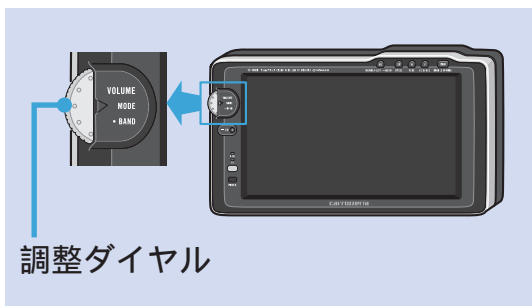
この場合は、カーステレオをAUX（外部入力）ソースにすると、本機の音声が出力されます。

音声をFM電波で飛ばす

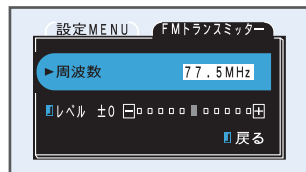
FMトランスミッターの設定

テレビ、ビデオの音声やナビゲーションのガイド音声をFM電波で飛ばし、その電波をFM付きカーステレオで受信して聞くことができます。

チェック 最初に設定メニューの基本操作を覚えましょう。(32ページ)



4 送信周波数を選び、調整ダイヤルを押す



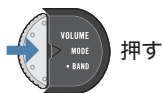
OFF、77.5、77.7、77.9、78.1、78.3 MHzの中から選ぶことができます。

FMトランスミッターを使わないときは、必ずOFFを選んでください。

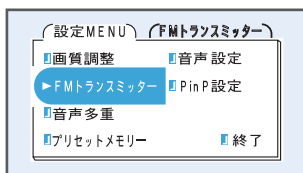


設定終了です。[戻る]を選んで設定メニューに戻り、[終了]してください。

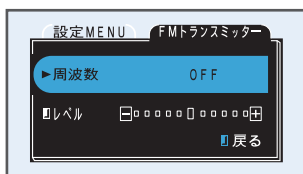
1 設定メニューを表示させる



2 [FMトランスミッター]を選び、調整ダイヤルを押す



3 [周波数]を選び、調整ダイヤルを押す



メモ

FMトランスミッターを使用して、FM付きカーステレオで音声を聞いた場合、送信用アンテナの取り付け場所やラジオのアンテナによっては、ノイズが出たり、感度が落ちる場合があります。

FMトランスミッターを使用したときに、他のFM放送と混信する場合は、手順4で他の送信周波数を選んでください。

FMトランスミッターの実用到達距離は約2mです。(法律により電波の強さが規制されています。)

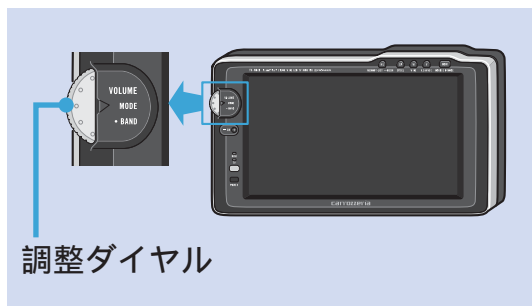
パイオニア製のIP-BUS入力付きのカーステレオと組み合わせた場合は、IP-BUSケーブルで本機とカーステレオを接続することができます。この場合、FMトランスミッター機能は使用しません。(詳しくは『取付説明書』)

FM トランスミッターのレベルを調整する

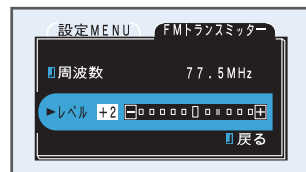
FM トランスミッターのレベル調整

カーステレオで音声を出力させたとき、通常のFM放送と音量が違う場合は、FM トランスミッターのレベルを調整してください。(通常は調整しなくてもお使いいただけます。)

チェック 最初に設定メニューの基本操作を覚えましょう。(32 ページ)

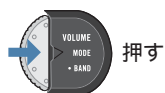


4 調整を行い、終わったら調整ダイヤルを押す

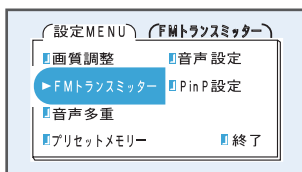


- 6 ~ + 6 の範囲で調整できます。

1 設定メニューを表示させる



2 [FM トランスミッター] を選び、調整ダイヤルを押す



3 [レベル] を選び、調整ダイヤルを押す



カーステレオのFM放送に対して、本機の音量が小さいと感じたときは、レベルを大きくしてください。

カーステレオのFM放送に対して、本機の音量が大きいときや、歪みを感じたときは、レベルを小さくしてください。



調整終了です。[戻る] を選んで設定メニューに戻り、[終了] してください。

メモ

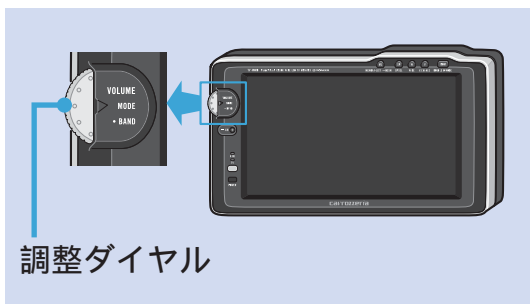
[FM トランスミッター] の設定 (37 ページ) がOFFになっているときは、[レベル] を選ぶことはできません。

カーステレオから出力される音声を選ぶ

音声出力

カーステレオのスピーカーから出力される音声を、切り換えることができます。映像とは別の音声を出力することもできます。

チェック 最初に設定メニューの基本操作を覚えましょう。(32 ページ)

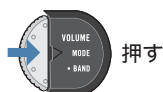


4 カーステレオの音声を切り換える

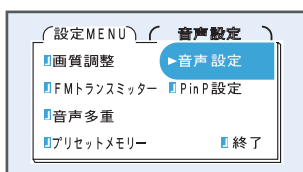


TV、VTR、GUIDEの中から選ぶことができます。

1 設定メニューを表示させる



2 [音声設定]を選び、調整ダイヤルを押す



3 [音声出力]を選び、調整ダイヤルを押す



TVを選んだとき。

テレビの音声が出力されます。

VTRを選んだとき。(接続した場合のみ)

ビデオの音声が出力されます。

GUIDEを選んだとき。

ナビゲーションの音声(ガイド音声)が出力されます。



設定終了です。[戻る]を選んで設定メニューに戻り、[終了]してください。

メモ

RCAビデオ入力(『取付説明書』)にビデオを接続していないときは、ビデオの音声には切り換わりません。

RCAビデオ入力にコードが接続されていると、RCAオーディオ入力を接続する/しないに関係なく、ビデオの音声に切り換わります。

DVDなし

ナビゲーションの音声(“GUIDE”)には切り換わりません。

RCAビデオ入力にナビゲーションシステムを接続した場合は、ビデオとして扱われます。

DVDあり

♪ [MU] が表示されたときは

ナビゲーションの音声ソースがM-CDやAUDIO OFFになっているときは、[音声出力]の表示が♪ [MU] になり、[音声出力]の切り換えができなくなります。テレビ、ビデオ、ナビゲーションの音声をカーステレオのスピーカーから聞くときは、音声ソースを本機の音声(“TV”)に切り換えてください。(切り換えかたは 29 ページ)

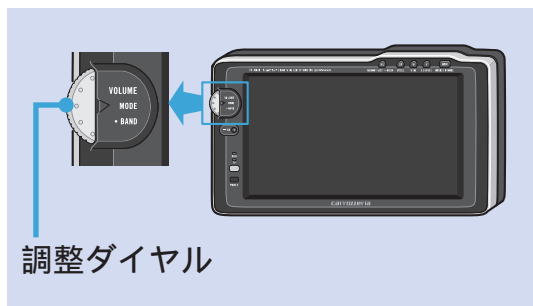
DVDあり

カーステレオから出力される音声にガイド音声を重ねる

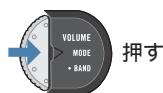
ガイド音声のミキシング

ナビゲーションのガイド音声を、カーステレオから出力されるテレビやビデオなどの音声に重ねて出力することができます。

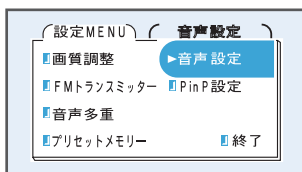
チェック 最初に設定メニューの基本操作を覚えましょう。(32 ページ)



1 設定メニューを表示させる



2 [音声設定]を選び、調整ダイヤルを押す



3 [ミキシング]を選び、調整ダイヤルを押す



4 ON/OFFを選び、調整ダイヤルを押す



ONにすると、ナビゲーションのガイド音声を、カーステレオから出力されるテレビやビデオなどの音声に重ねて出力することができます。



設定終了です。[戻る]を選んで設定メニューに戻り、[終了]してください。

パイオニア製カーステレオ「DEH-P707」をお使いのお客様へ

「DEH-P707」にはガイド音声のミキシング機能があります。(設定方法については「DEH-P707」の説明書、接続方法については DVDナビゲーションの説明書)

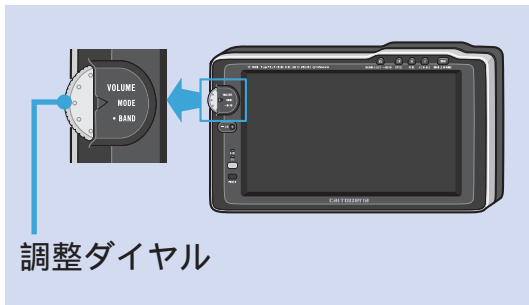
「DEH-P707」のミキシング機能をONにしたときは、「DEH-P707」と本機のミキシング機能が重なってしまいますので、本機の[ミキシング]をOFFにしてください。

ガイド音声がよく聞こえるようにする

ガイド音声の大小設定

ナビゲーションのガイド音声が出力される時、ガイド音声がよく聞こえるように、テレビやビデオの音声を自動的に小さくすることができます。

チェック 最初に設定メニューの基本操作を覚えましょう。(32 ページ)



4 > または = を選び、調整ダイヤルを押し



> か = を選ぶことができます。

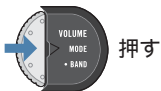
> を選んだとき
ガイド音声が出力される時、テレビやビデオの音声が、自動的に小さくなります。

= を選んだとき
テレビやビデオの音声が、小さくなりません。

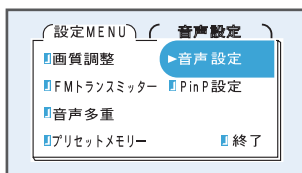


設定終了です。[戻る]を選んで設定メニューに戻り、[終了]してください。

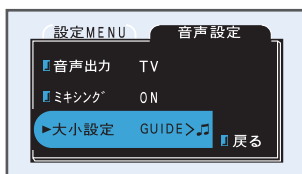
1 設定メニューを表示させる



2 [音声設定] を選び、調整ダイヤルを押し



3 [大小設定] を選び、調整ダイヤルを押し



メモ

テレビやビデオの音声を聞きながら設定操作をすると、手順4で > を選んだときに音量が小さくなりますので、実際にガイド音声が出力される時の状態を確認することができます。

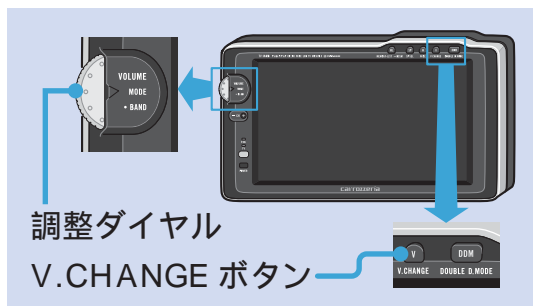
ガイド音声の [大小設定] は内蔵スピーカーの音声にも反映されます。

映像の明暗や色を調整する

黒の濃さ / コントラスト / 色の濃さ / 色あい

映像の黒の濃さ、コントラスト（明暗）、色の濃さ、色あいを、お好みに合わせて変えることができます。

チェック 最初に設定メニューの基本操作を覚えましょう。(32 ページ)



調整ダイヤル

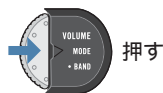
V.CHANGE ボタン

1 調整する映像を選ぶ



V.CHANGE ボタンを押して、調整する映像を表示させてください。2画面モードのときは、左画面（または親画面）の映像が調整されます。

2 設定メニューを表示させる

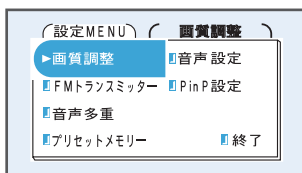


押す

3 [画質調整]を選び、調整ダイヤルを押す



回して
選び、
押す

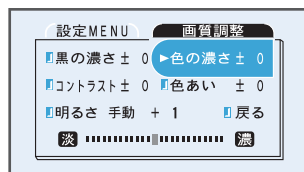


調整内容は別々に記憶されますが、黒の濃さとコントラストは画面全体に働きます。2画面モードのときは、右画面（子画面）の映像も、左画面（親画面）の映像の調整内容で表示されます。

4 調整する項目を選び、調整ダイヤルを押す



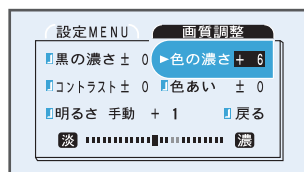
回して
選び、
押す



5 調整を行い、終わったら調整ダイヤルを押す



回して
調整し、
押す



それぞれ、- 24 ~ + 24 の範囲で調整できます。

調整項目	- 側	+ 側
黒の濃さ	黒が薄くなる	黒が濃くなる
コントラスト (明暗)	白黒の差が 小さくなる (暗くなる)	白黒の差が はっきりする (明るくなる)
色の濃さ	薄くなる	濃くなる
色あい	肌色が紫がかる	肌色が緑がかる



調整終了です。[戻る] を選んで設定メニューに戻り、[終了] してください。

メモ

テレビ、ビデオ、ナビゲーションの映像で、調整内容が別々に記憶されます。

黒の濃さとコントラストは、車のライトがOFFのとき（明るい昼間）と、ONのとき（暗い夜間）でも、調整内容が別々に記憶されます。

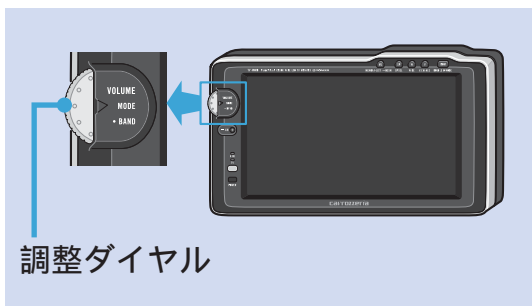
ナビゲーションの映像では、色の濃さと色あいは調整できません。

液晶画面の明るさを調整する

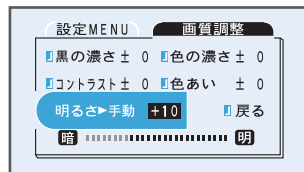
液晶画面の明るさ調整

本機では、液晶画面自体の明るさを調整することができます。夜間、周囲が暗くなり、画面がまぶしくなったときなどに調整してください。

チェック 最初に設定メニューの基本操作を覚えましょう。(32ページ)



4 調整を行い、終わったら調整ダイヤルを押す

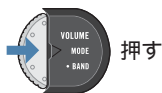


+1 ~ +50の範囲で調整できます。値が大きいほど、液晶画面は明るくなります。

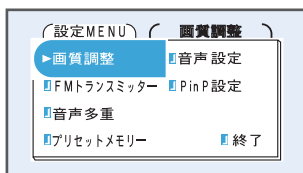


調整終了です。[戻る]を選んで設定メニューに戻り、[終了]してください。

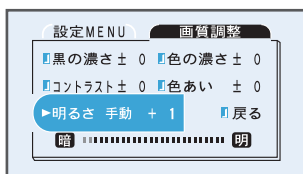
1 設定メニューを表示させる



2 [画質調整]を選び、調整ダイヤルを押す



3 [明るさ]を選び、調整ダイヤルを2回押す



調整ダイヤルを2回押します。

調整内容の記憶について

車のライトがOFFのとき (明るい昼間) と、ONのとき (暗い夜間) で調整内容が別々に記憶されます。

メモ

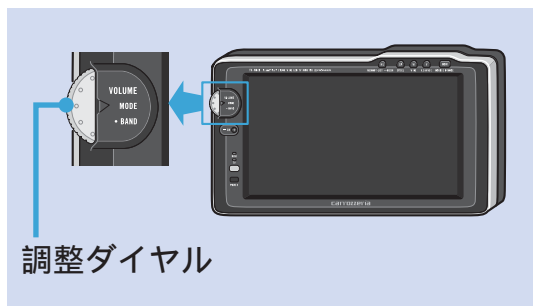
[明るさ]の設定が“自動”になっているとき (44ページ) は、手動で [明るさ] を調整することはできません。

液晶画面の明るさを自動的に調整する

液晶画面の明るさの自動調整

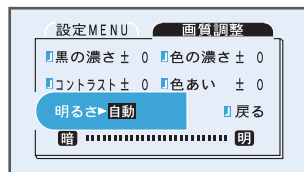
周囲の明るさに合わせて、自動的に液晶画面の明るさを調整することができます。この機能により、常に液晶画面を見やすい明るさにしておくことができます。

チェック 最初に設定メニューの基本操作を覚えましょう。(👉 32ページ)



調整ダイヤル

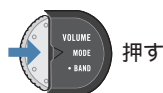
4 手動/自動を選び、調整ダイヤルを押す



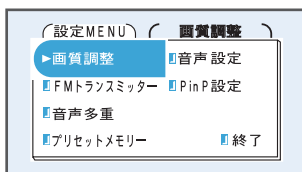
自動にすると、本機が周囲の明るさを感知して、自動的に液晶画面の明るさを調整します。

“手動”を選ぶと、手動で[明るさ]を調整することができます。(👉 43ページ)

1 設定メニューを表示させる

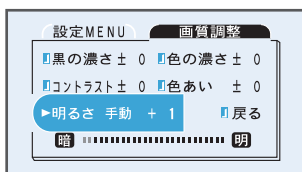


2 [画質調整]を選び、調整ダイヤルを押す



設定終了です。[戻る]を選んで設定メニューに戻り、[終了]してください。

3 [明るさ]を選び、調整ダイヤルを押す

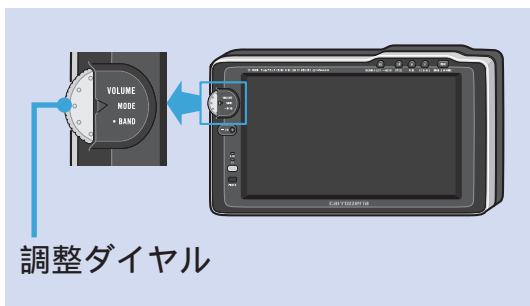


2 カ国語放送の副音声を聞く

主音声 / 副音声切り換え

2カ国語放送（音声多重放送）を受信しているときは、主音声（日本語）や副音声（外国語）だけを聞くことができます。

チェック 最初に設定メニューの基本操作を覚えましょう。（ 32ページ）



調整ダイヤル

4 音声を選び、調整ダイヤルを押す



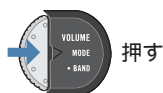
MAIN、SUB、MAIN+SUBの中から選ぶことができます。

- MAINを選んだとき
主音声（日本語）だけを聞けます。
- SUBを選んだとき
副音声（外国語）だけを聞けます。
- MAIN+SUBを選んだとき
主音声と副音声の両方を聞けます。

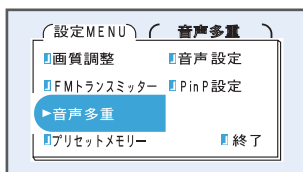


設定終了です。[戻る]を選んで設定メニューに戻り、[終了]してください。

1 設定メニューを表示させる



2 [音声多重]を選び、調整ダイヤルを押す



3 [音声多重]を選び、調整ダイヤルを押す



[音声多重]で選べる項目は、[音声多重]と[戻る]の2つです。

メモ

洋画やニュースの2カ国語放送のように、2種類の音声を持った放送のことを音声多重放送といいます。

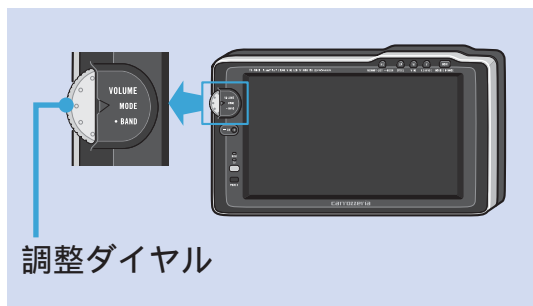
2カ国語放送の場合は、一般に主音声を日本語、副音声を外国語（例えば英語）で放送します。（逆の場合もあります。）

いろいろな設定と調整

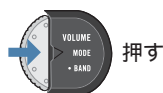
チャンネルの記憶を変更する

ご自分の地域に合わせてチャンネルを記憶させたいときは、チャンネルを記憶させなおしてください。

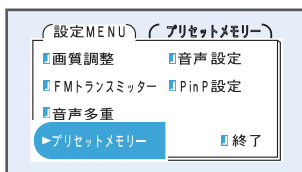
チェック 最初に設定メニューの基本操作を覚えましょう。(32 ページ)



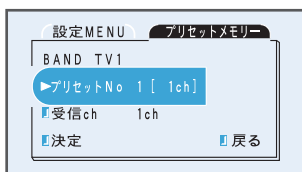
1 設定メニューを表示させる



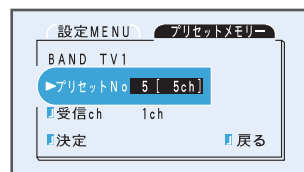
2 [プリセットメモリー]を選び、調整ダイヤルを押す



3 [プリセットNo]を選び、調整ダイヤルを押す

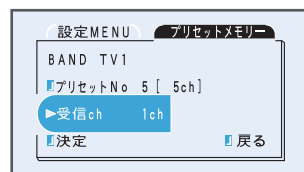


4 記憶させる番号を選び、調整ダイヤルを押す



記憶番号は1～12まであります。[]の中には、現在記憶されているチャンネルが表示されます。

5 [受信ch]を選び、調整ダイヤルを押す

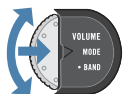


6 記憶させたいチャンネルを選び、調整ダイヤルを押す

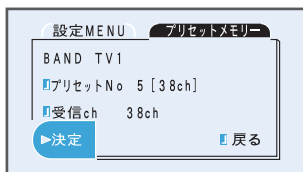


受信できるチャンネルは、1～62 chです。

7 [決定]を選び、調整ダイヤルを押す



回して
選び、
押す



[]の中が選んだチャンネルに変わり、記憶されたことを示します。

8 他にも記憶させるときは、操作を繰り返す

手順3～7の操作を繰り返して、他のチャンネルを記憶させてください。



設定終了です。[戻る]を選んで設定メニューに戻り、[終了]してください。

DVDなし

TV1とTV2の2つのバンドに、それぞれ12局ずつ記憶させることができます。最初に、記憶させたいバンドを選んでください。(バンドの切り換えかたは 23ページ)

本機の映像をリアーモニターに表示する

RCA リアーモニター出力に、後部座席専用のモニターを接続すれば、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。(詳しい接続のしかたは (☞ 『取付説明書』))

リアーモニターに表示される映像について

リアーモニターには、カーステレオのスピーカーから出力される音声 (設定メニューで切り換えます。(☞ 39ページ)) と同じ映像が表示されます。V.CHANGE ボタン (☞ 11、15ページ) で映像を切り換えても、リアーモニターの映像は切り換わりません。

リアーモニターでは、2画面 (☞ 14ページ) で見ることはできません。(ナビゲーションの映像をピクチャー サイド ピクチャーで表示させたときは、ナビゲーションの映像は画面半分になりますが、もう一方の画面には、映像は表示されません。)

リアーモニターには、映像、音声、チャンネルなどの情報 (☞ 11、16、18ページ) や設定メニュー (☞ 32ページ) は表示されません。

リアーモニターでは、ナビゲーションの映像はコンポジット信号の映像になります。RGB 信号の映像を見ることはできません。

ナビゲーションの映像は、16 : 9 の映像のまま出力されます。リアーモニターに従来の4 : 3 のモニターをお使いの場合は、映像の左右が縮小されて表示されます。

本機の16 : 9 の映像



4 : 3 のリアーモニターの映像



リアーモニターには、パーキングブレーキのON/OFFに関係なく映像が表示されますので、走行中でもテレビやビデオの映像を見ることができます。

安全走行のために


リアーモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができる位置には、絶対に設置しないでください。

メモ

RGB 信号は、パソコンの画面表示などに使われている信号です。本機では、ナビゲーションの映像がより鮮明に表示されるように、通常は RGB 信号を使用しています。(RGB 信号の方が、コンポジット信号より、映像が鮮明です。)

コンポジット信号は、一般のビデオデッキなどの RCA ビデオ出力で使われている信号です。

2画面でのナビゲーションの映像について


2画面モードのピクチャー サイド ピクチャー ( 14ページ) では、ナビゲーションの映像は、ピクチャー サイド ピクチャーに適した映像で表示されます。

ピクチャー サイド ピクチャーでナビゲーションの映像を表示したときは

ナビゲーションの操作をしやすいするため、ナビゲーションの映像や操作ウィンドウが優先的に表示される場合があります。

ナビゲーションの映像をツインビューに切り換えたときは、ツインビューの左画面の地図がナビゲーションの映像として表示されます。

ルート案内の交差点拡大図は表示されません。(ガイド音声は出力されます。)

ナビゲーションの各機能について、詳しくは ( DVDナビゲーションシステムの説明書)

モニターの正しい使いかた

取り扱い上のご注意

モニターに直射日光が当たる状態で長時間放置しておくと、高温になり、液晶画面が故障する恐れがあります。本機を使用していないときは、モニターに直射日光が当たらないようにしてください。

モニターは次の温度範囲内でお使いください。

使用温度範囲： - 10度 ~ + 50度

保存温度範囲： - 20度 ~ + 80度

モニターの液晶画面は、車内での視認性向上のためにむき出しになっています。故障する恐れがありますので、液晶画面を強く押さないでください。

キズや汚れの原因になりますので、液晶画面は触らないでください。

液晶画面について

モニター画面の中に小さな黒い点や明るく光る点（輝点）が出る場合があります。これは液晶モニター特有の現象で故障ではありません。

寒いところでお使いになるときは、電源を入れた後、しばらく画面が暗いことがあります。時間がたつと正常な明るさに戻ります。

モニター画面に直射日光が当たると、光が反射し映像が見づらくなりますので、直射日光をささぎってください。

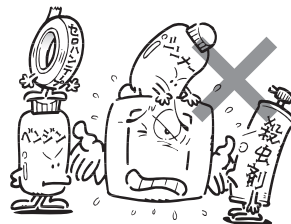
お手入れについて

画面に付いたホコリやモニターの汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかい布で拭きしてください。

画面を拭くときは、ツメで引っかかないように注意してください。画面にキズが付くと映像が見づらくなります。

化学ぞうきんをお使いの場合は、化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。

ぬれたぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。



小型蛍光管について

液晶画面を光らせるために、モニター内部に小型蛍光管を使用しています。

蛍光管は約1万時間お使いになると寿命になります。（寒いところでお使いになると、寿命が短くなることがあります。）

蛍光管が寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

リセットについて

リセットボタンについて

リセットボタンは、本機のマイコンをリセットするボタンです。次のようなときに、リセットボタンを押してください。

接続が終わった後。

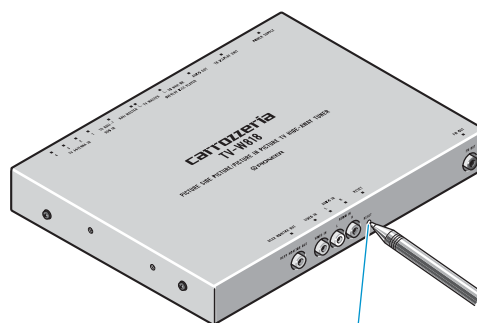
本機が正しく動作しないとき。

画面が正しく表示されないとき。

なお、リセットボタンを押すと、本機は初期状態に戻ります。本機の記憶 (FMトランスミッターの設定や記憶させたチャンネルなど) が消去されますので、もう一度セットし直してください。

リセットボタンの押しかた

ボールペンの先などで、リセットボタンを押します。



リセットボタン

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら
修理を依頼される前に、次の表の内容をチェックしてください。



チェックしても直らないときは
本機をリセットしてください。(☞ 51ページ)



それでも直らないときは
保証書とアフターサービス(☞ 54ページ)をお読みになり、修理を依頼してください。

共通項目

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクターが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。(☞ 『取付説明書』)
	システム切り換えスイッチの設定が適切でない。	組み合わせたシステムに合ったモードに切り換えて、リセットボタンを押してください。(☞ 『取付説明書』)
	DVDあり ：DVDナビゲーションの電源が入っていない。	DVDナビゲーションの電源が入っていないと、本機は動作しません。DVDナビゲーションの電源を入れてください。(☞ DVDナビゲーションの説明書)
モニターにナビゲーションの映像が映らない。	ナビゲーションの電源が入っていない。	ナビゲーションの電源を入れてください。(☞ ナビゲーションの説明書)
	モニターの映像が、ナビゲーションに切り換わっていない。	DVDあり ：モニターの映像を、ナビゲーション“NAVI”に切り換えてください。(☞ 11ページ) DVDなし ：RCAビデオ入力にナビゲーションを接続した場合は、モニターの映像を、ビデオ“VTR”に切り換えてください。(☞ 11ページ)
内蔵スピーカーの音が出ない。	内蔵スピーカーが“OFF”に設定されている。	内蔵スピーカーから出力されるように設定してください。(☞ 16ページ)
カーステレオのスピーカーから音が出ない。	FMトランスミッターの設定が“OFF”になっている。	設定を切り換えてください。(☞ 37ページ)
	FM付きカーステレオの受信周波数が合っていない。	本機の送信周波数と、FM付きカーステレオの受信周波数を合わせてください。(☞ FM付きカーステレオの説明書)
映像と音声合わない。	本機では、映像と音声を別々に切り換えます。	映像、内蔵スピーカーの音声、カーステレオのスピーカーの音声をそれぞれ合わせてください。(☞ 11、16、39ページ)
DVDあり ：カーステレオのスピーカーの音声を切り換えできない。	設定メニューの[音声出力]の表示が♪[MU]になっている。	表示が♪[MU]のときは、ナビゲーションの音声ソースが本機“TV”になっていません。音声ソースを本機に切り換えてください。(☞ 29ページ)
DVDあり ：ナビゲーションのガイド音声が出力されない。	ガイド音声が出力されない設定になっている。	出力される設定に切り換えてください。(☞ 16、40ページ)

モニター

症 状	原 因	処 置
DVDあり：映像が映らない。	映像が“OFF”になっている。	映像を“ON”に切り換えてください。(☞ 11ページ)
リアモニターに映像が映らない	設定メニューの[音声出力]の表示が♪[MU]になっている。	表示が♪[MU]のときは、ナビゲーションの音声ソースが本機“TV”になっていません。音声ソースを本機に切り換えてください。(☞ 29ページ)
映像が明るい。または暗い。	[黒の濃さ]の調整が適切でない。	[黒の濃さ]を調整してください。(☞ 42ページ)
	[コントラスト]の調整が適切でない。	[コントラスト]を調整してください。(☞ 42ページ)
液晶画面が暗い。	[明るさ]の調整が適切でない。	[明るさ]を調整してください。(☞ 43ページ)
	[明るさ]が“自動”になっている。	[明るさ]の“自動”による調整が適切でない場合は、[明るさ]を“手動”にして調整してください。(☞ 43、44ページ)
	車内の温度が低い。	液晶モニターは、周囲の温度が低いと画面が暗くなることがありますので、ヒーターで車内の温度を上げてください。
	イルミ(黄)リード線を正しく接続していない。	イルミ(黄)リード線をイルミ電源に正しく接続してください。(☞ 『取付説明書』)
映像の色がうすい。または濃い。	[色の濃さ]の調整が適切でない。	[色の濃さ]を調整してください。(☞ 42ページ)
テレビの映像の色あいがおかしい。	[色あい]の調整が適切でない。	[色あい]を調整してください。(☞ 42ページ)
液晶画面の中に、小さな黒点や輝点がある。	液晶特有の現象で、故障ではありません。	---

テレビ

症 状	原 因	処 置
テレビの映りが悪い。 “ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	チャンネルが合っていない。	チャンネルを正しく合わせてください。(☞ 19ページ)
	放送局の電波が弱い。	他のチャンネルを選局してみてください。(☞ 19ページ)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、映りが良くなり、雑音も少なくなります。
	アンテナ線と他のケーブルを束ねたり、重ねたりしている。	アンテナ線と他のケーブルは、できるだけはなしてください。

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアお客様相談センターまたは最寄りのパイオニアインフォメーションセンター(1・C)をご利用ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

お願い

修理をご依頼になるときは、故障の原因をより早く確実に解決するため、モニターとTVチューナーの両方をお持ち込みください。

仕様

TV チューナー

受信チャンネル	: VHF 1 ~ 12 ch、UHF 13 ~ 62 ch
実用感度	: 20 dBf (75、モノラル音声)
映像 S/N	: 40 dB 以上 (65 dBf 映像入力、 白 100%)
映像雑音制限感度	: 51 dBf
クロストーク	: 主 副 35 dB 以上 副 主 40 dB 以上
S/N	: 60 dB (IHF-A ネットワーク)
ステレオ セパレーション	: 30 dB (1 kHz)
外部映像 入力レベル	: 1 Vp-p / 75
外部音声 最大入力レベル	: 1 V / 22 k
映像出力レベル	: 1 Vp-p / 75
外部音声 最大出力レベル	: 1 V / 1 k
アンテナ入力	: 4 ch ダイバーシティ
FM トランスミッ ター使用周波数	: 77.5 / 77.7 / 77.9 / 78.1 / 78.3 MHz

モニター

画面サイズ	: 8.0 インチワイド (有効表示 面積: 99.5 × 175.7 mm)
画素数	: 336,960 画素 (234 × 1,440)
方式	: TFT アクティブマトリクス方式、 透過型
エッジライト	: 冷陰極コの字管
使用温度範囲	: - 10 ~ + 50
保存温度範囲	: - 20 ~ + 80
内蔵スピーカー	: 36 mm

TV アンテナ

出力端子	: 3.5 ミニプラグ × 4
アンテナ ケーブル長	: 6 m

共通部

使用電源	: DC 14.4 V (10.8 ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式	: マイナスアース方式
最大消費電流	: 2.3 A

外形寸法

TV チューナー	: 267.0 (W) × 200.4 (H) × 33.2 (D) mm
モニター	: 235.8 (W) × 135.3 (H) × 37.4 (D) mm
TV アンテナ	: 30.0 (W) × 186.0 (H) × 35.7 (D) mm (収納時、アンテナベース含む)

質量

TV チューナー	: 1.5 kg
モニター	: 0.75 kg
TV アンテナ	: 0.3 kg (コード含む、片側)

付属品

FM トランスミッター 送信用アンテナ	: 1
コード類	: 1 式
取付金具類	: 1 式
取扱説明書	: 1
取付説明書	: 1
安全上のご注意	: 1
保証書	: 1
ご相談窓口・修理窓口の ご案内	: 1

メモ

上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

本機は日本国内専用です。放送規格の違う外国ではご使用になれません。



エコマーク認定の再生紙を使用しています。

< 98A00F0R01 >

© パイオニア株式会社 1998

< CRA2508-A >

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

お客様ご相談窓口 (修理に関しては別添『ご相談窓口・修理窓口のご案内』参照)

お客様相談センター TEL 03-3491-8181

技術相談窓口	○ 札幌	TEL 011-644-4779	○ 大阪	TEL 06-353-3705
	○ 仙台	TEL 022-375-4417	○ 広島	TEL 082-228-2239
	○ 名古屋	TEL 052-532-1141	○ 福岡	TEL 092-441-8076